

## 「ふっさっ子スタンダード」について



正和会  
山崎 貴裕 議員



**質問** 市立小・中学校ではふっさっ子スタンダードをどのように指導しているか。また、環境の変化などに対応した見直しも必要ではないか。

**教育長** 毎年、小・中学校の入学式当日に、ふっさっ子スタンダードを印刷した下敷きやクリアファイルを新入生に配布。また、ポスターを各校の教室に掲示。全小・中学校が家庭・地域の方々とふっさっ子スタン

ダードの内容を共有して継続的に取り組んだことで、児童・生徒に望ましい生活習慣が確立され、学力向上に結びついたと考える。一方で、策定から7年が経過し、児童・生徒の学び方や生活は大きく変わりつつある。今後、学校や家庭、地域の方々のご意見を踏まえて改定したい。

**質問** 改定に対する視点について、またその際の手順について伺う。

**教育部参事** コロナ禍で身につけた学校の新しい生活様式と、iPad配布に伴う児童・生徒の情報活用能力の二点を主眼とする。改定の手順は、現行のふっさっ子スタンダードへの意見を関係者から令和3年9月までにいただき、それを基に10月末を目途に原案を作成、12月に教育委員会で審議、決定し、令和4年1月に改定版を示していきたい。



▲ふっさっ子スタンダードの下敷きとクリアファイル

## 教職員の1年単位の变形労働時間制について



日本共産党  
池田 公三 議員



**質問** 2019年、現場で反対の声が大きい1年単位の变形労働時間制の導入を可能にするいわゆる「給特法」改正が強行された。東京都が条例制定すれば各自治体において校長の判断で導入可能になるが、見解を伺う。

**教育長** これまで教職員の労働条件の改善に向けて様々取り組んできた。1年単位の变形労働時間制については、今後、東京都教育委員会や

近隣自治体の動向を注視し、適切に判断したい。

**質問** 1年単位の变形労働時間制は、学校が忙しい月の労働時間を比較的忙しくない月で調整する仕組みなので、過労死ラインを超えたとしても超えていないことになってしまう。頑張っている先生方のためにも本制度は問題があると考えている。令和2年度の福生市の教員に当てはめて

試算した場合、過労死ライン超えの人数と割合はどう変わるか。

**教育部参事** 教員の在校時間から勤務時間と休憩時間を差し引いた時間を時間外労働時間とすると、本制度の導入は、時間外労働時間が月42時間、年320時間の範囲内であることが前提である。それを超える状況の場合は本制度を活用できないので、お答えは難しい。



## 人間と動物の共生について



正和会  
石川 義郎 議員



**質問** 昨年9月定例会での風水害対策の質問では、ペットの避難所として福生地域体育館の一部を使用するとの答弁だったが、同館は現在新型コロナウイルスワクチン集団接種会場に使用中であり、避難所は本当に確保できるのか。

**市長** 同時使用することはなく、動線も分かれており、ペット受入れ可能だが、臨時的に他の場所を設定

するなど柔軟に対応したい。また、他の避難者とのトラブルも想定されることから、ペットの同行避難に関するガイドラインの作成に着手している。

### ドッグランについて

**質問** 人間と動物が共生するまちづくりにおいて、ドッグラン設置の要望が高まっている。所見を伺う。

**市長** 設置には近隣住民の理解が大前提であり、その上で管理運営手

法や飼い主側のマナーなど新たなルールづくりと相応のスペースも必要。想定されるのは多摩川中央公園や福生南公園などの河川敷公園だが、市民に活用されておりスペースを確保することは難しい。また、公園以外に新たな土地の確保も現時点では難しい。現在、公園長寿命化計画や個別の維持管理計画の策定に向け検討中で、設置の可能性も研究していく。



▲福生地域体育館内のペット専用避難場所

## 女性の孤独・孤立を防ぐ体制について



公明党  
五十嵐 みさ 議員



**質問** 女性の諸問題に関わる部署は多岐にわたるが、女性の孤独・孤立を防ぐための市の所見を伺う。

**市長** 羽村市と共同で行っている女性悩みごと相談事業をはじめ、関係各所で相談事業を行っており、新たな行政課題やどの部署にも属さない問題等は各部署において組織の壁を越えて職員が連携し、できる限りの対応を図っている。窓口も秘書広

報課、協働推進課、社会福祉課、子ども家庭支援課など様々あり、声を上げやすいところに相談をしていたらと考える。今後も孤立する方が生じないよう、さらに一丸となって取り組みたい。

**質問** 相談先が分からないのが一番問題で、諦めや孤立につながりかねない。相談窓口の一元化のため、今後女性を専門に担当するような部

署等を創設する考えはないか。

**福祉保健部長** 本市の規模では、女性問題を一元的に解決する担当課を設置することは難しいが、福祉的な困りごとについては、社会福祉課窓口で断らない相談を実施している。今後、女性の方が利用しやすいよう相談窓口の名称等を工夫するなどし、必要に応じて関係部署や関係機関に繋げて支援してまいりたい。



▲女性悩みごと相談の案内カード

## 性的マイノリティーについて



日本共産党  
市毛 雅大 議員



**質問** 令和2年12月議会で「性的少数者への理解や配慮を課題の一つとして取り組みを進めたい」との答弁だったが、半年後の現況を伺う。

**市長** 本年3月に福生市男女共同参画行動計画(第6期)を策定した。性的少数者に配慮した取り組みの実施に加え、多様性への理解の促進に多様な背景を抱える人々への理解を広く浸透させることで、それぞれ

が住みやすい社会を目指している。

**質問** 同性パートナーシップ制度を導入する自治体が増えている。予算も僅少で庁内手続きも簡単で当事者の不利益の解消、権利を向上でき、導入するべきと考えるが、見解は。

**生活環境部長** 今後も動向を注視していきたい。

### 土地利用規制法案の影響について

**質問** 国会審議中の重要施設周辺

及び国境離島等における土地等の利用状況の調査及び利用の規制等に関する法律案について、見解を伺う。

**市長** 法律案の国民生活の基盤の維持並びに領海等の保全及び安全保障に寄与するという目的は、いずれも国の専管事項である。国が国の責任において、目的、関係自治体や住民への影響等について国民の理解を得て実施されるものと考えている。



▲福生市男女共同参画行動計画(第6期)表紙